



 目 次 	
戦争直後の話	1 ~ 2
いっぽスタッフ ひとことリレー	3
映画予約のご案内	
寄付のご紹介	4
新事業の途中報告など	

今年には戦後 70 年にあたり、様々なところで記念式典が催されました。一宮学園も激動の歴史を潜り抜けてこられたわけですが、私たちはそれを語り継いでいく必要があると思います。当時の子ども達、また従事しておられました大人の方々の愛とご苦労に敬意を表し、ここに一つの文をご紹介します。

*「一宮学園 70 周年記念文集」より抜粋。スペースに合わせて編集をさせていただきましたことをご了承ください。



戦争直後の話

元保母 一色梅子

昭和 21 年 9 月も終わりの頃です。一宮警察から、「小学 5、6 年生くらいの浮浪児の男の子を保護している。一宮学園にお願いしたい」と連絡があり、受け入れることにしました。午前中に連れて来るそうです。所持品なし、裸のようです。入園の準備をお願いします」と事務からの連絡で取り急ぎ大サイズの衣類その他を用意して待ちました。

お巡りさんに連れられて玄関に入ってきました。髪は女の子のように伸び放題です。お巡りさんの柔道着を着せてもらっています。「いらっしゃい」と言ったら「ボク、ボク」と言ってお巡りさんの腰のバンドを握ってはなりません。お巡りさんは、「どこから来たのか、学校がどこか、親がいるのか、いないのか、自分の名前だけはかっちゃんと言うだけで何もわからないんです。進駐軍についてまわっていたようです。返事はハイハイと言うし、言葉が東京あたりの子でもないかと思うんです。着物はボロボロでしたので、署のを着せました。署で 2、3 日保護している間、掃除を手伝ったり、風呂を沸かしたり、薪運びを手伝ったり素直によく働くんです。悪い子じゃあないらしいから、どうぞよろしく願います」と一気に頼み込まれました。かっちゃんは「ボク、ボク」と言って半泣きです。

教室から国語の朗読が聞こえてきます。3、4 年生が教室から顔を出して見えています。「かっちゃん、早くお風呂に入ってお昼から学校に行きましょうね」と話しかけたが何も言いません。私はかっちゃんの手をしっかりと握って様子を見ていました。逃げ出そうとはしません。風呂場に行くとき散髪の手配がしてありました。白布を首に巻かれてもおとなしくしています。「かっちゃん散髪しようね。前から刈りますよ。痛かったら大きな声で痛いと言ってね」かっちゃんは黙っています。いやがる様子もないので一気に刈り上げました。食堂のおばさんが風呂の手配をしに来てくれました。かっちゃんを見て「おお、いい子だ。お湯はぬる目にしておくからすぐどうぞ。上がり湯は出しておきますからね」と言って釜場の方に行きました。かっちゃんは、お風呂に入るときお湯を体にかけて洗って入りました。いきなり飛び込むようなことはしません。私はふと「どうゆう育ち方をしたのかしら」と思いました。

かっちゃんの持っていた手ぬぐいは、木綿の浴衣地でおしめに使うように柔らかくなっています。石鹸をつけて頭を何度も洗いました。首筋や耳のまわりは垢がこびりついていてねずみ色をしています。背中をこしこし洗ってやり、手足は自分で何度も洗わせると大体きれいになりました。また風呂に入って温まり洗います。釜場から「一度に洗って垢を落とすと風邪引くよ」と声がかかったので、手足の指の間はまだ垢が残っていましたが、今日はこれくらいにして温まって上がることにしました。色白のきれいな子です。用意してあった服を着せました。丁度ピッタリ。服を着せると前から学園に居た子どものようでした。全身のうつろ鏡の前で自分をじっと見えています。「かっちゃん、きれいになったね」かっちゃんは「ボク、ボク、はい」と口の中でもくもく言っています。きれいになったので医務室で健康検査を受けると、栄養失調で体が弱っているから、しばらく健康に留意してほしいと言われました。その後寮に行きました。本間先生が待っていました。「かっちゃんの部屋はここですよ。もうじきお昼だからご飯を食べて学校に行きましょうね。何年生？ 5年生？ 4年生？」と聞いている。「かっちゃんは何年生だったか思い出せないのよね。思い出したら教えてあげてね」と私が代わりに言いました。

学校のベルが鳴り、児童はぞろぞろと寮に帰ってきました。かっちゃんを見て「いらっしやい。なんて名前なの？ 何年生？」とてんでに聞いています。かっちゃんは「ボク、ボク」と言って窓の方に寄って後ずさりしています。本間先生はかっちゃんの方へ行って「かっちゃんっていうの、仲良くしてあげてね。秀ちゃんと同じ部屋だからお願いね」と言いました。

昼食の鐘が鳴りました。みんな食堂に行くとかっちゃんの席は男女組のテーブルに用意してありました。昼食はトウモロコシの粉パンです。ボソボソのパンで喉につまりそうですが、黄色くて見た目がきれいだったので子どもたちは好きでした。おかずは、地曳でとれた小鰯と小鯛の煮つけ。小鰯は骨ごとむしゃむしゃ食べます。小鯛は骨を取って食べます。かっちゃんは小鯛の身をきれいに取って食べています。食事の作法もよく出来ています。「この子はどんな生活をしていただろう」とまた思い、私は食事中に一寸涙がこぼれそうになりました。

夕食後、週番の久江さんが「お集まりをします。七時頃から歓迎会をしたいと思いま



す」と言ってきました。週番が取り決めることですから、進行役もみんなまかせてあります。中学生は自由参加です。輪になって座り、まず久江さんが自己紹介をしました。次は二年生から「二年塚本和代」「三年脇田定男」と立って次々と自己紹介をはじめました。かっちゃんのところに回ってきました。かっちゃんは立って「三年 伊藤勝久」と言いました。皆、喜んで手をたたきました。かっちゃんは「伊藤勝久」という名前でした。私たちはビックリしました。驚きました。思い出したのでしょうか。子どもは子ども同志です。自己紹介が終わると一芸回しが始まります。一人ずつ立って歌をうたいます。校歌でも、唱歌でも、知っている歌を歌います。勝久君の番が回ってきました。そこで勝久君は校歌らしい歌をうたいました。校歌を歌ったことで、勝久君の学校が東京都小金井の小学校だとわかったのです。二十二年四月、勝久君は小学校の先生に引き取られて帰りました。学園生活七か月でした。

そのほかにも浮浪児は次々と入園してきました。六年生の男の子は悲しかったことを話してくれました。「お腹が空いて千葉駅で誰もいなくなったベンチに腰掛け、うずくまって『お母さん、お母さん』と立っていたら、駅の人がストープの所であたらせてくれた。コッパンを分けてくれた。僕は忘れない。大きくなって忘れない」

今はもうそんな悲しい話は日本では聞かなくなりましたが、空襲で両親、兄弟をなくして、住む家もなく上野公園、日比谷公園と追われて暮らしていた浮浪児と名のつく子どもがいたことを、私は決して忘れません。



いっぽスタッフ ひとことリレー

星野公快さん 星野ゆかりさん

はじめのいっぽの活動にかかわって一年半ほどになります。当初はボランティア初心者で、仕事と6人の我が子の育児で毎日てんてこまいの私たち夫婦になにができるのか、逆に足を引っ張ってしまうのではないかと不安もありました。しかし 会員のみなさまが子育て真っ最中の我が家に対してあたたかいまなざしを注いでくださるので、その中で安心して自分たちのできる小さな働きをコツコツとやらせていただいています。いっぽの活動を通して、一宮学園の子どもたちが抱える問題が私たちにも少しずつ理解できるようになってきました。確かに子どもたちは家庭の問題や社会制度のひずみの影響を大きく受けていますが、それは学園の外にいる私たちも多かれ少なかれ同じだと思います。ですから家庭や社会の抱える問題にみんなで一緒に取り組み、子どもたちに寄り添いながら一緒により良い方向へ歩いていく、そのようなかわり方を大切にして、これからも活動していきたいと思っています。

映画予約のご案内

チャリティ映画会
第 4 回一宮学園で映画を観よう！

同日 2 回上映 **10 月 24 日(土)『うまれる ずっと、いっしょ。』**

～ご予約ください～

当日の受付もいたしますが、満席の場合はお断りすることもございますので、ご予約をおすすめします。

電話で **080-6535-0977** 荒木
すぐに出られない場合がありますが
折り返しご連絡いたします。

メールで hajimeno.1.2.3po@gmail.com
受付完了のメールをお送りします。

第1部 (受付 9:10) 9:30 11:45



赤ちゃん連れでも安心なパパママ優先の会です。少しぐらいのぐずりはお互いさま。肩身の狭い思いをしないでご覧いただけます。授乳、おむつ替えのお部屋もあります。

第2部 (受付 12:40) 13:00 16:30



映画を観た後のスピーチ&トークで、施設出身の子どもたちの自立はなぜ大変なのかを、どうぞ教えてください。

【場所】 一宮学園体育館 (一宮町一宮389番地) Pあり

【後援】 千葉県、一宮町、一宮町教育委員会

千葉県児童福祉施設連絡協議会、千葉県助産師会

皆様ありがとうございました

平成 27 年 5 月～8 月末日 順不同 ・ 敬称略 末尾の数字は件数です。

一宮学園で映画を観よう 協賛 (有)東金屋 / にじと風福祉会 / 金澤輪業 / 古山吹子 / 井桁實 / (株)いしばし / 糸瀬悦子 / 松葉博子 / CAP ぼけっと / 高師和美 / よねもと整形外科 / 三芳堂 / 荒留商店 / 大勝堂 / 三橋知一 / 伊勢仁商店 / 久我薬局 / 福辺克吉 / 和菓子司かねきち / (有)魚平商店 / 田中紀子 / 三楽製菓 / 朝日プラント工業(株) / (有)井上農機商会 / (有)折平 / 匿名 10 名
一般 寄付 市川瑞枝 / 竹内由紀子 / 星野公快 / 匿名 2 名
ふるさと宅急便 寄付 CAP ぼけっと / 匿名 1 名
ふとんプレゼンター 寄付 油本繁 / 匿名 1 名
ぶっちゃけトーク 寄付 匿名 2 名
物の寄付 斉藤実 / 平野くみ子 / 酒井昌雄 / Dustin&Jen Draper

支援のお願い

郵便局 口座番号 00170-8-663629

一宮学園自立支援はじめのいっぽ後援会

他金融機関からの振込用口座は

店 019 当座 0663629

ご寄付はいくらからでも結構です。

募集

THE MONO

物による支援は保管場所がないため、ニーズにあったものを頂戴したいと思います。

未使用のタオルセット など

小型冷蔵庫、洗濯機、灯油を使わなくてすむ暖房器具など(清潔であれば中古もOK)

まずは **080-6535-0977 荒木まで**

ご連絡を下さい。

新企画途中報告

『ぶっちゃけトーク』～ここを出てからのこと～

社会に出てからのつまずき予防を目的に在園の高校生を対象に座談会をします。

ゲストスピーカーが決まりました。

11/27 女子の会 藤原志帆子さん

NPO 法人ライトハウス/人身取引被害者サポートセンター
代表

12/11 男子の会 副田一朗さん

NPO 法人市川ガンバの会/ホームレスサポート理事長

【編集後記】 戦争直後の話』いかがでしたか？現在では孤児より虐待が原因で入園してくる子どもが多いようです。そして虐待特有の問題は複雑で対応が難しいと感じます。日本もだんだん貧困家庭が増えてきました。悲しい子どもが早くいなくなりますように。祈。(ひで)

Facebook がオープンしました

一宮学園自立支援はじめのいっぽ後援会

〒299-4301 千葉県長生郡一宮町一宮 389 番地一宮学園内

事務局 電話 080-6535-0977 (荒木)

E-MAIL hajimeno.1.2.3po@gmail.com